

*** 平成8年度 菅生中学校区 地域教育会議 委・員・紹・介・***

【選出委員】

生涯学習委員会		ふれあい委員会		広報委員会		青少年健全委員会	
委員長	中島美和子○	委員長	小路 靖子◎	委員長	生駒 みを◎	委員長	菅野 輝夫◇
副 "	工藤文比古○	会 計	古川ツグ子▽	会 計	七浦美知子◎	会 計	江部 峰勝◇
広報係	大石千恵子○	広報係	中村利美子○	連絡係	松本 信彦■	広報係	高橋 好子○
広報係	渡部美佐子○	記録係	丸山 量子▽	記録係	藍郷 恭子○	記録係	高橋保奈美○
記録係	大越 衣子○		大木 一夫☆	記録係	峯岸 恵子○		岡田 瑞枝○
	十文字美恵◎		矢澤 澄夫○		薄井 健雄○		服部 征男※
	岸井 利夫		中野 貢☆		藤田 太三○		新井 通夫※
	有田 康二■		杉田 房江		渡部 信子○		清野 隆男■
	北村 勝美□		伊沢 孝子				
	蛭木 春代□						
	伊藤千代子						
	本郷千づる						
	駒田 範子						

◎ 住民委員 ○ PTA父母委員 □ 自治会委員 ▽こども会委員 ※ 防犯委員
◇ 青少年指導委員 ☆ 社会福祉協議会委員 * 協力委員 ■ 非選出委員

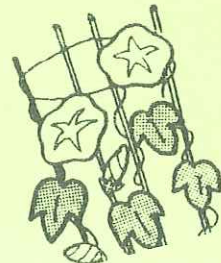
【運営委員会】

委員長	薄井 健雄	議 長
委 員	岸井 利夫	副 議 長
委 員	北村 勝美	副 議 長
"	中島美和子	生涯(委)代表
"	小路 靖子	ふれあい(委) "
"	生駒 みを	広報(委) "
"	菅野 輝夫	青少年健全(委) "
事務局	吉原 一幸	
"(経理)	大森 茂雄	
顧 問	辻野 彪	

【非選出委員】

辻野 彪	菅生中学校 校 長
小牧 春實	菅生小学校 校 長
松島 勇	稗原小学校 校 長
松本 信彦	菅生子ども文化センター 館 長
有田 康二	蔵敷子ども文化センター 館 長
今井 正彦	宮崎 菅生分館 館 長
大森 茂雄	菅生中学校 教 頭
安部 隆	菅生小学校地域教育会議担当教諭
池端庄一郎	稗原小学校地域教育会議担当教諭
吉原 一幸	菅生中学校地域教育会議担当教諭

編集後期：久しぶりの「とらいあんぐる」です。やっぱり、菅生には地域と学校の情報がいっぱいあります。地道に活動している人々との出会いを楽しみながらの広報活動です。ご意見・情報をどうぞ！



菅生中学校区地域教育会議ニュースレター(8)

1996年 7月19日

発行：菅生中学校区
地域教育会議

編集：広報委員会

事務局：菅生中学校

☎977-8787

とらいあんぐる菅生

総会

三年目にむけ



より活動しやすいシステムで

三年目を迎える地域教育会議。6月15日(土)午後、菅生中で開かれた総会は、委員の増員などをめぐって活発な意見が交わされました。

メンバー増やして

総会議長として防犯委員(初山)の服部征男さんが選出され、議事に入りました。事務局より規約の確認、予算の説明が行われ、委員それぞれが所属委員会を決めました。

委員から、「各委員会での委員の出席率が悪く、委員会活動に支障が出ている。委員の増員策として『協力委員』の設置が認められたが、委員としての立場が曖昧だ。例えばPTAの任期が終了しても本人からの申し出があれば、正式な委員として継続できないだろうか」という問題提起がありました。

さらに、「非選出委員(学校/子ども文化センター/市民館職員)も、委員会に参加するのが望ましいのでは」という意見が出され、さっそく二つのことも文化センターと菅生分館の職員が委員会に分散することになりました。

できるだけ多くの方々が地域教育に関わるために、システムとしてももう一歩進みだしたようです。

「子どもたちがいきいきと、のびやかに成長する」ために、学校と親と地域が力を合わせようという川崎市地域教育会議は、1990年に三つの中学校からスタートしました。今年は51中学校区のうち35地区で実施されることになりました。子どもの教育をすべて学校にまかせようというのではなく子どもたちのことを地域ぐるみで考えようというものです。菅生在住であればどなたでも参加資格があります。

取り組んでいます—地域・学校(2)

平瀬川上流七夕サミット

身近にできることから



「今」ヘドロ、ビニール、自転車...

サミットは「うるおいのあるまちづくり」の会と「飛森谷戸(とみもりや)の自然を守る会」が催したもので、午前の部は、蔵敷親水公園から神木の殿下橋下流300mまでの流域を、幼児や小学生も参加して清掃しました。

川にはヘドロが溜まり、ビニール袋や空き缶、菓子袋、そして何と自転車や掃除機、洗濯機までが捨てられていました。

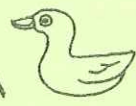


「昔」ヤマメ、フナ、コイ、川遊び

午後の部は、「川を生かしたまちづくりへの可能性をさぐる」をテーマに、(1)50年前の平瀬川と向丘(2)平瀬川とのかかわり(3)今後の川を生かしたまちづくりへの可能性をさぐるなどの発表を行いました。

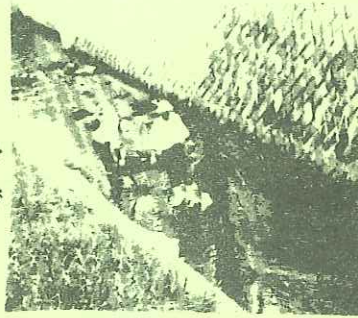
初山の竹間さんらの話によると、50年前、平瀬川は農業用水として使われていましたが、時々大洪水がおきたそうです。当時、平瀬川はくねくねと蛇行しており、ヤマメ、コイ、フナ、タナゴなどの魚がいて、子どもたちは学校帰りに川を歩きながら魚をつかんで遊んだり、川で泳ぎを覚えたということでした。

うるおいのあるまちづくりへ



平瀬川とのかかわりについて事例報告がされました。「平ばやしや農業の行事を残したい」と住民と学校が協力し、壁画を描いたという報告。ま

7月7日、七夕の日曜日、平瀬川流域の住民が平瀬川をきれいにし、農協向丘支店でシンポジウムを開きました。



た、生田緑地へ続く『ホタルの里』にホタルを取り戻そうと用水路を掃除、ホタルの幼虫とカワニナを放流した「飛森谷戸(とみもりや)の自然を守る会」や、平瀬川を水に親しめる地域の交流の場にしたいと、運動を続けてきた「うるおいのあるまちづくり」の会からの活動報告がありました。

建設省や市土木局からは「市民と連携しながらいい川づくりをめざしたい」と説明。青少年科学館館長の若宮さんは、「この辺りには、タヌキや野鳥などがまだたくさんいる。多様な自然があることが多様な生物の生息を可能にする。水と緑が共存するまちづくりを」と強調しました。

自分たちの住む地域を積極的につくっていかうとする市民パワーを感じる一日でした。

インタビュー

掃除に参加して



☆こんなによごれているとは思わなかった。☆食べ残しのサンドイッチが捨ててあった! ☆川で遊べない。菅生は緑が多いけど川が汚い。☆子どもたちにもっと参加してもらいたい。☆子どもが遊べないような川は掃除もできない。☆ホタルを見たくて「飛森の...会」に参加。今活動している大人たちは、子どものころ川で遊んだ。だから楽しさを知っている。子どもたちにぜひ楽しさを体験してもらいたい。

お知らせコーナー



楽しい企画がいっぱい

蔵敷こども文化センター

- 児童劇『あとむの時間はアンデルセン』(劇団あとむ)7月24日(水)3時開演
 - 流しそーめんを食べよう8月7日(水)1時から(申込4日まで)
 - ペン立てづくり8月28日(水)2時から材料費¥150(申込8月24日まで)
- 問い合わせ ☎ 977-2577

大人の学校が始まります

宮前市民館菅生分館

- 成人学校『やきもの世界』9月17日~11月26日火曜午前、受講料¥4000(申込9月11日、10時分館にて受付)
- 高齢者教室『手ごたえあるライフプランを求めて』10月1日~12月3日火曜午後1時半から3時半、無料(申込9月17日10時より電話可) 駐車場はありません。

問い合わせ ☎ 977-4781



昆虫にふれてみよう!

菅生小学校

昨年に続き、夏休みに初山地区で昆虫採集会を開きます。昨年は、子どもたちが20名ほど参加しました。はじめはこわごととトンボにさわっていた子ども、「トンボってかわいいね」と言うまでになりました。

昆虫の良さは、昆虫に直にふれてみなければわかりません。会の終わりには、昆虫をまた自然に返してあげます。地区の方が冷たいものなどを差し入れてくれるそうです。8月3日(土)9時半~12時、菅生小校庭集合、捕虫網、虫かご、水筒、帽子持参 ☎ 977-0914 (小岩)

いい汗かいています

~親子除草の日~

稗原小学校

たくさんの緑に囲まれた稗原小学校。学級園も、クラスごとにあるほどの広さです。子どもたちは、めぐまれた自然環境の中で日々学習しています。ところが、除草作業が大変です。子どもたちと職員の力だけでは、とても無理です。

そこで、毎年8月30日を「親子除草」の日として、保護者の方々、子どもたち、職員が協力して除草作業にあたっています。お父さん方も、額に汗しながら側溝の土とりに励んでくれます。

汗をかいたあと、9月からはすがすがしい気持ちで新学期を迎えています。(文責 池端)

みなぎる活気、若さ

菅生中学校

体育祭9月14日(土)9時~
菅生中グラウンド 雨天順延